

札幌市 都市計画審議会
都市計画マスタープラン等見直し検討部会

第2回資料

(都市計画マスタープラン見直し)

【目次】

1. 第1回検討部会意見の概要及び都市マス見直しにあたっての視点	1
2. 見直しの方向性の検討	3
3. 第2～4回検討部会の議論の進め方	5
4. スケジュール(予定)	6
5. 市民アンケート	7

【委員からの主な意見】

【見直しにあたっての視点】

・各委員の専門的知見

【第1回検討部会資料】

・都市マスの位置づけ、役割

・現行都市マスの取組

・まちづくり戦略ビジョン

・都市マス見直しの論点

- ・都心・拠点への機能集約・集積
- ・郊外等の人口減・高齢化への対応
- ・持続可能な市街地インフラの維持更新
- ・地域特性を考慮したまちづくり

・アンケート・スケジュール

【追加検討すべき視点】

- ・全道の位置づけ、周辺との関わりは重要(フラッグシティ)
- ・20年後の都市型産業を想定した上で都市づくりを検討すべき
- ・今後はエネルギー政策の観点からの議論も重要
- ・コンパクトシティの考えが経済活性化の足かせにならないか
- ・市民の生活行動の変化を読み解くべき(ネット社会、買物難民、自動車離れなど)
- ・札幌の立地や気候条件、環境やライフスタイル、低炭素都市づくりに対応した施策が重要
- ・将来展望の変化に合わせ見直せる、成長し続ける計画にしたい

【確認・強調された事項】

- ・現状認識「コンパクトシティ＝拡大しない(内部を充実)」
- ・コンパクトシティの具体の推進はこれから
- ・20年後の都市の有り様は具体的に議論されていない
- ・空き店舗・空き家などの活用も含め、コンバージョンして質の高いまちをつかっていく考え方が重要
- ・周囲の自然豊かな公園など札幌の資産を活用すべき
- ・郊外の衰退と交通施策は密接な関係がある
- ・南区などの郊外部は、道外の人、外国人などの別荘地として人気があるので
- ・具体の都市づくりをどこで実現するか、アクションエリアを検討すべき
- ・拠点の特徴や地域性を踏まえ、拠点間の役割分担が重要であると考えられる
- ・市民、企業と連携して地域の特性を生かした取組を反映できる内容にしたい
- ・市民がどう暮らしたいか、都市づくりへの参加意向など、聞きたいことを精査してアンケートを実施しては

札幌らしさを生かした、都市づくりの方向性について

- ・20年後も安心して豊かに住み続けられる、札幌にふさわしい都市づくりの検討

都市全体の視点

- ・これまでの市街地の質の維持・向上を図る方策の検討(成熟した都市づくり)

市街地特性に応じた、地域ごとの視点

- ・都市づくりを具体的に進める「アクションエリア」の抽出・検討

都市づくりの体制・進め方について

- ・今ある都市づくり活動との連動

1. 第1回検討部会意見の概要及び都市マス見直しにあたっての視点

見直しにあたっての4つの視点ごとに現行都市計画マスタープラン、まちづくり戦略ビジョン、検討部会の意見の内容を比較

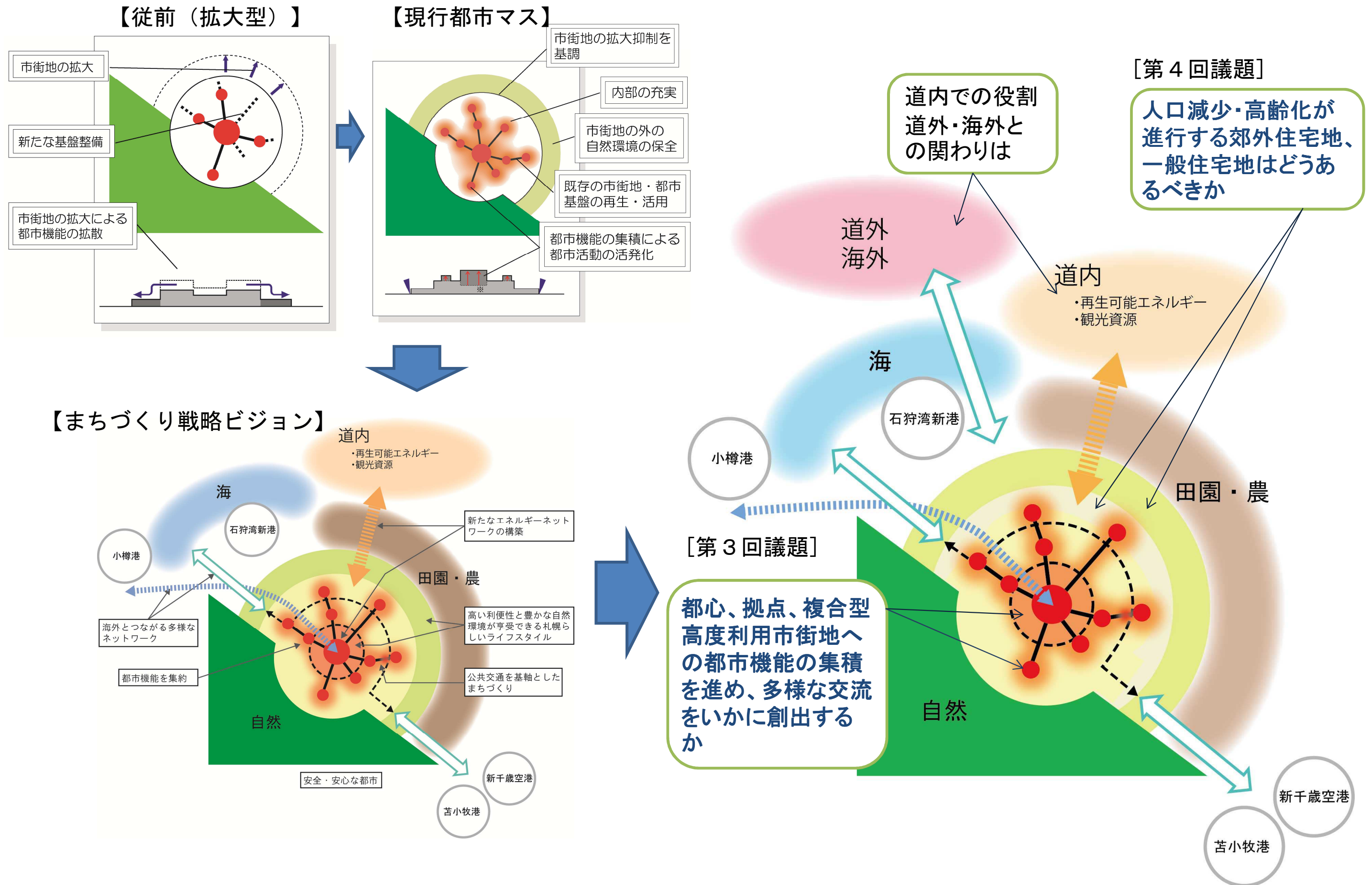
現行都市計画 マスタープラン(H16～) (将来人口)205～210万人 (H32 第4次長総※と同じ)	まちづくり戦略 ビジョン(H25～) (将来人口)平成27年(194万人) をピークに減少見込み	検討部会の意見 (現状認識、20年後の展望)	【見直しにあたっての視点】
原則1 一人ひとりの暮らしの質の向上を支えます 原則2 自然と共生し北の風土特性を尊重します 原則3 多くの人が集まる場を大切にします	共創都市さっぽろ ～ S・L・I・M City Sapporo ～ Sustainability (持続可能性) Livable (安心・快適で質の高い生活) Innovation (創造性の発揮) Managing (エネルギーやモビリティなど多様なマネジメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・全道の位置づけ、周辺との関わりは重要(フラッグシティ) ・20年後の都市型産業を想定した上で都市づくりを検討すべき ・20年後の都市の有り様は具体的に議論されていない ・市民の生活行動の変化を読み解くべき(ネット社会、買物難民、自動車離れなど) ・札幌の立地や気候条件、環境やライフスタイル、低炭素都市づくりに対応した施策が重要 ・将来展望の変化に合わせ見直せる、成長し続ける計画にしたい 	札幌らしさを生かした、都市づくりの方向性について
「持続可能なコンパクトシティへの再構築」 ○市街地の拡大抑制を基調とし、既存都市基盤を有効に活用しながら都市の魅力と活力(質)を向上	「持続可能な札幌型の集約連携都市への再構築」 ○超高齢社会を見据え、地下鉄駅の周辺などに、居住機能と生活を支える多様な都市機能を集約することで、効率的に都市サービスを楽しむコンパクトな都市など	<ul style="list-style-type: none"> ・今後はエネルギー政策の観点からの議論も重要 ・コンパクトシティの考えが経済活性化の足かせにならないか ・現状認識「コンパクトシティ＝拡大しない(内部を充実)」 ・コンパクトシティの具体の推進はこれから ・空き店舗・空き家などの活用も含め、コンバージョンして質の高いまちをつくっていく考え方が重要 	都市全体の視点
○都心の再生・再構築(都心) ○多中心核構造の充実・強化(拠点) ○多様な住まい方を支える質の高い居住環境の実現(都心周辺、地下鉄沿線、郊外住宅地など) ○市街地の外の自然環境の保全と活用(市街化調整区域) ○オープンスペース・ネットワークの充実・強化(郊外部)	※まちづくり戦略ビジョン(戦略編) 「都市空間創造戦略～今後10年間の施策の方向性～」(概要版 P21～25)を参照	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の自然豊かな公園など札幌の資産を活用すべき ・郊外の衰退と交通施策は密接な関係がある ・南区などの郊外部は、道外の人、外国人などの別荘地として人気ができるのでは ・具体の都市づくりをどこで実現するか、アクションエリアを検討すべき ・拠点の特徴や地域性を踏まえ、拠点間の役割分担が重要であると考えられる 	市街地特性に応じた地域ごとの視点
○地域の取り組みの連鎖 ○都市づくりの取組における「協働」	○地域マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・市民・企業と連携して地域の特性を生かした取組を反映できる内容にしたい ・市民がどう暮らしたいか、都市づくりへの参加意向など、聞きたいことを精査してアンケートを実施しては 	都市づくりの体制・進め方について

見直しの方向性の検討

第4次長総※:第4次札幌市長期総合計画(札幌市基本構想に基づいて、2020年(平成32年)を目標年次とする20年間の総合的な施策体系や展開方針などを示した計画。)

2. 見直しの方角性の検討

都市全体の視点



2. 見直しの方向性の検討

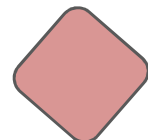
市街地特性に応じた地域ごとの視点

<都心>※都心まちづくり計画と整合を図る

- ・国際競争力を高める魅力と活力ある都心のあり方
- ・居住の受け皿としての都心づくりのあり方
- ・既存ストックの更新時期を捉えた新たな機能導入のあり方
(安全安心、エネルギー転換、低炭素都市づくりなど)

<複合型高度利用市街地> (環状通内側・地下鉄沿線)

- ・都心回帰の傾向を踏まえた多様な機能立地のあり方
- ・利便性の高い、人が集まる地域としての景観まちづくりのあり方 (景観基本計画との整合)
- ・既存の公共施設・インフラの維持・更新のあり方



都心



高次機能交流拠点



地域交流拠点

<拠点>

- ・郊外や隣接都市との連携を踏まえた拠点のあり方
- ・拠点における多様な都市機能の集積・誘導のあり方
- ・既存エネルギーネットワークの活用のあり方

<市街化調整区域>

- ・みどりや農地の環境保全、公園、オープンスペース活用のあり方
- ・再生可能エネルギー導入など新たな土地利用ニーズへの対応のあり方

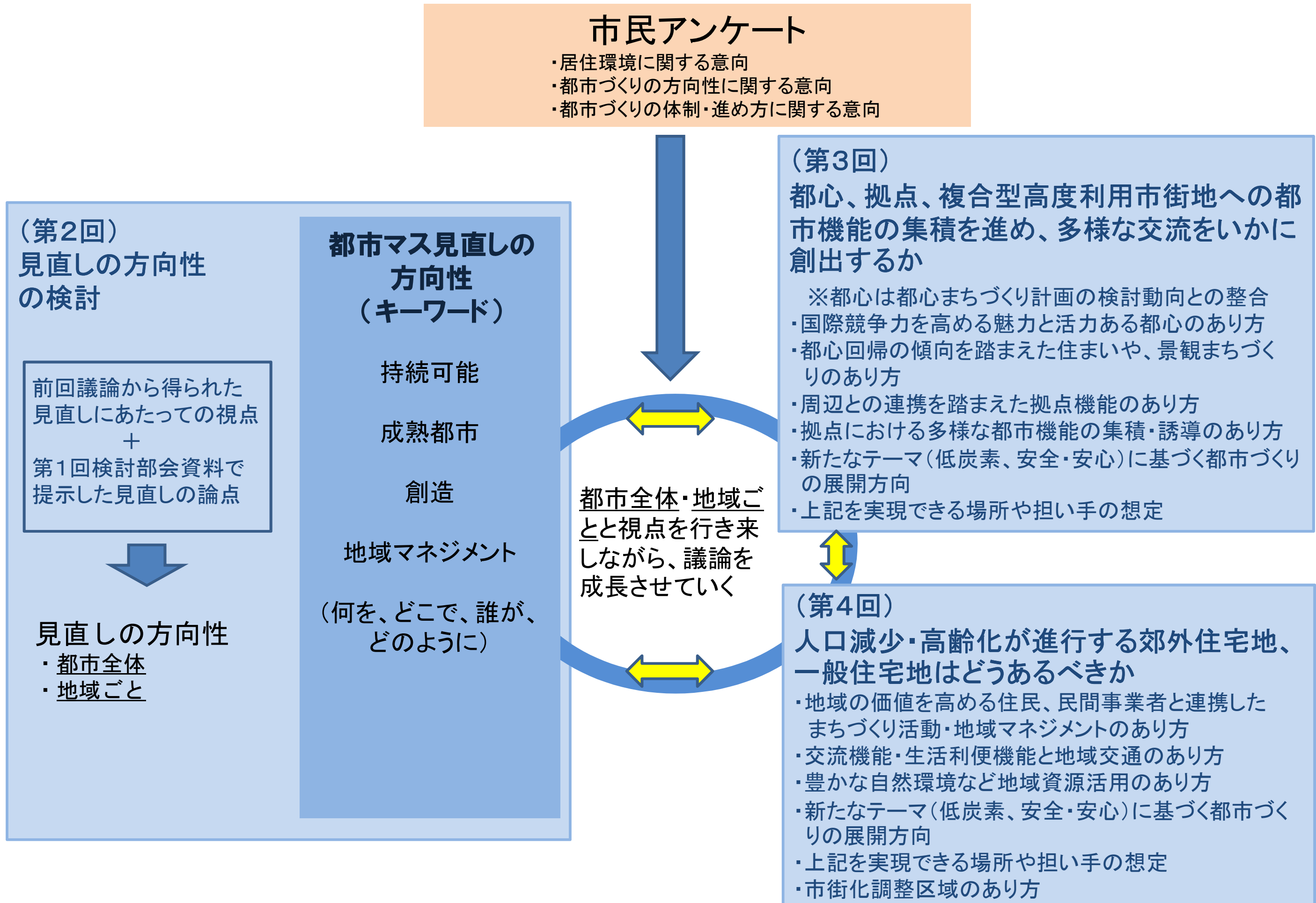


<一般住宅地・郊外住宅地>

- ・地域の価値を高める住民、民間事業者と連携したまちづくり活動・地域マネジメントのあり方
- ・豊かな自然環境など地域資源活用のあり方
- ・交流機能、生活利便機能と地域交通のあり方

3. 第2～4回検討部会の議論の進め方

都市全体と地域ごとの両方の視点から計画を見直し



4. スケジュール (予定)

		平成26年																								平成27年																	
		5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月											
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下												
検討部会							■ 6/30			■ 7/30									■ 10/6			■									■												■
		第1回: ・都市マス見直しの必要性 ・都市マスの位置づけ等 ・都市マスの概要 ・現行都市マスに基づく取組状況 ・戦略ビジョンにおける、都市空間の創造にあたっての基本的な考え方 ・札幌市を取り巻く現況、動向、課題 ・都市マス見直しの論点(案) ・スケジュール(予定) ・市民アンケート						第2回: ・第1回検討部会意見の概要及び都市マス見直しにあたっての視点 ・見直しの方向性の検討 ・第2～4回検討部会の議論の進め方 ・スケジュール(予定) ・市民アンケート ----- ・再開発方針の概要						第3回: ・都心・拠点・複合型高度利用市街地への都市機能の集積を進め、多様な交流をいかに創出するか ----- ・再開発方針見直しの方向性						第4回: ・人口減少・高齢化が進行する郊外住宅地、一般住宅地はどうあるべきか ----- ・再開発方針骨子案						第5回: ・計画素案(1) ----- ・再開発方針骨子案						第6回: ・計画素案(2)											
	都市計画審議会	●			●			●						●						●									●														
	市民アンケート													■																													
	子どもアンケート													■																													
	子ども議会																									●																	
市民ワークショップ																			●																								

5. 市民アンケート

(1) 意向調査の目的

人口減少や高齢化を見据えた都市づくりについて市民の意向を把握し、都市計画マスタープランにおける今後の都市づくりの方向性を検討・確認するための参考とする。

- ①まず今後の居住意向の質問を足掛かりに、**身近な地域ごとの居住環境の評価、求められる居住環境の質**を把握する。また、移住場所やそこで想定する交通利用を聞くことで、集住化やモビリティマネジメントの必要性について検証する。
- ②次に人口減少・高齢化を背景にした**都市づくり（市街地拡大抑制、内部の充実）**について認知度や賛否を問うとともに、今後**重点的に取り組みが必要だと思われる分野**について意向を把握する。
- ③今後の都市づくりを支える体制・進め方として、**地域との協働、地域活動等への参加**についての市民の意識・意向を把握する。

(2) 実施方法

- ①実施時期:平成26年8月
- ②実施方法:郵送による配布・回収
- ③配布対象:札幌市民3,000人(18歳以上の市民を対象に住民基本台帳から無作為抽出)
- ④配布物
 - ・アンケート調査の案内(A4版片面)
 - ・調査票:A4版8ページ

(3) 設問内容（案） 「★」は子どもアンケートの設問（表現・選択肢等は子ども向けに修正）

項目	設問内容	把握したいこと、ねらい
問1 回答者の属性	・性別★/年齢★/居住区/職業/札幌での居住年数/家族構成/住まいの形態（戸建、マンション等）/自家用車の有無	・問2以下の設問について、必要に応じて属性別の傾向を把握(クロス集計による分析等)
問2 居住環境に関する意向	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も札幌市に住みたいか★ ⇒ 住みたい理由、住みたくない理由 ・今後、住みたいと思う居住環境（都心、拠点、高度利用住宅地、一般住宅地、郊外住宅地などをイメージできる選択肢）★ ・利便性の高い場所へ移り住んだ場合の公共交通の利用意向 ・居住環境に重視すべき要素（生活利便性（買い物・医療等）、交通利便性（公共交通、車）、安全性（防災、防犯）、コミュニティ、公園緑地・景観等）★ ・居住環境向上に資する個別の取組に関する意向（景観形成 など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの評価指標として、今後の札幌市への居住意向を把握 ・都市構造の再編・維持を検討する際に、考慮すべき市民の居住ニーズ（どこに住みたいか、何が必要か）を把握 ・関連部局における取組に関する個別事項について、市民の意向を把握
問3 都市づくりの方向性に関する意向	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少をふまえた今後の都市づくりの方向性に関する意向 ※人口減少により今後想定される状況について図示するなど説明を加える ・重点的に取り組みが必要だと思われる分野（景観形成 など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が減少するなかで、市街地の拡大抑制・内部充実に関する市民の意向を把握 ・今後重点的に取り組みが必要だと思われる分野について、市民の意向を把握
問4 都市づくりの体制・進め方に関する意向	<ul style="list-style-type: none"> ・今までのまちづくり活動への参加の有無 ・今後のまちづくりへの参加意向（話し合いに参加、アンケートに協力、意見投稿、情報共有、参加しない等） ・WS開催の場合の参加意向 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の都市づくりにおける「協働」の取組についての市民の意向を把握 ・WS参加者の抽出
問5 自由意見	・札幌市の都市づくり全般についての自由意見★	・問2～4で把握できない市民の関心やニーズ等を抽出

市街地特性に応じた、**地域ごとの視点**
札幌らしさを生かした、**都市づくりの方向性**について

都市全体の視点

都市づくりの体制・進め方について